I-O DATA

IEEE 1394 TV チューナーボード

GV-ADTV

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

135284-01

もくじ

お読みになる前に ３
必ずお守りください ４

はじめに 9

箱の中には １０
動作環境 １２
パソコン動作環境 １２
接続できるDV機器 １３
接続できる映像機器 １３
各部の名称・機能 １４

使えるようにしよう 17

取り付けよう １８
パソコンに取り付ける １９
アンテナを接続する ２０
映像機器を接続する ２２
認識させよう ２３
確認しよう ２５
インストールしよう ２７
チャンネル設定をしよう ３０
予約録画の準備をしよう ３２

パソコンで使ってみよう ……33

アプリケーションについて …… 34
テレビを見る …… 35
DigitalTV Recorderを起動する …… 35
チャンネルを変更する …… 38
画面サイズを変更する …… 39
音声を切り換える …… 40
録画する …… 41
今見ている映像を録画する …… 42
予約録画する …… 44
他のソフトウェアで録画する …… 47
DV機器からの映像を録画する …… 49
DVDに直接録画する …… 51
静止画を撮る …… 54
録音する …… 55
再生する …… 57
AVIファイルを再生する …… 57
その他のファイルを再生する …… 59
MediaSinkでデータ管理する …… 60
MediaSinkを起動する …… 60
データを入力する …… 60
データを見る …… 62
データを管理する …… 63
データを探す …… 64
MPEGファイルに変換する …… 67
DVDに書き込む …… 69

付録 ……73

本製品の設定 …… ７４
音声の周波数を設定する …… ７４
Locked Audioを設定する …… ７４
本製品の設定を初期化する …… ７５
サポートソフトの削除 …… ７６
I-O DATA DigitalTV Recorderの削除 …… ７６
I-O DATA MediaSinkの削除 …… ７７
サービス品のソフトウェア …… ７８
入っているソフトウェア …… ７８
インストール方法 …… ７９
使用方法 …… ８０
IEEE 1394について …… ８１
IEEE 1394とは？ …… ８１
IEEE 1394機器の接続方法 …… ８１
IEEE 1394機器の接続可能台数 …… ８３
IEEE 1394ケーブルの最大本数 …… ８３
複数のIEEE 1394機器の取り外し …… ８３
用語解説 …… ８４
困った時には …… ８８
使えるようにする時の問題 …… ８９
弊社製ソフトウェアで使用時の問題 …… ９０
他社ソフトウェアで使用時の問題 …… １０３
仕様 …… １０６

お問い合わせ …… １０７
修理について …… １０９

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	GV-ADTV
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

本製品の取り付け・取り外し・移動の際は、パソコン・周辺機器の電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源コードを AC コンセントに差したまま行うと、感電および故障の原因となります。

本体を濡らさないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

本製品のコネクタ・基板部分には触れないでください。

基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。

また、コネクタ・基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。

そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●ケーブルは、コネクタを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

箱の中には…… 10

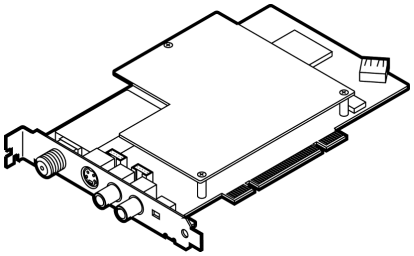
動作環境…… 12

各部の名称・機能…… 14

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

□ **TVチューナーボード(1枚)**
［GV-ADTV］



□ **Sビデオ変換アダプタ※(1個)**

※ 本製品以外ではご利用になれません。

□ **GV-1394TV・GV-ADTVシリーズサポートソフト(1枚)** ［CD-ROM］

・I-O DATA DigitalTV Recorder
　（- DigitalTV Recorder　- Channel Manager
　- Channel Commander）
・I-O DATA MediaSink
・Windows Media ランタイム
・DirectX 9 ランタイム
・reserMail

□ **Ulead 編集ソフト一式(1枚)** ［CD-ROM］

・Ulead VideoStudio 7 SE［ビデオ編集ソフト］
・Ulead DVD MovieWriter 2 SE（Dolby Digital対応版）
［DVDオーサリングソフト］
・Ulead PhotoImpact 8 SE［静止画編集ソフト］
・Ulead Cool 3D 3 SE［3Dタイトル作成ソフト］

- ☑ **GV-ADTV取扱説明書(1冊)**［本書］
- ☐ **ハードウェア保証書(1枚)**
- ☐ **ユーリードシステムズ(株)ユーザ登録カード(1枚)**

参考

箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

reserMail, Uleadのソフトウェアについて

【サービス品のソフトウェア】(78ページ)をご覧ください。

ユーザー登録

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

※ シリアル番号は、本製品に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。
シリアル番号は、ユーザー登録・ダウンロードの際に必要です。

●ユーザー登録 ⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●ダウンロード ⇒ http://www.iodata.jp/lib/

動作環境

本製品を使うことのできる環境を説明します。

パソコン動作環境

		必要	推奨
対応機種		NEC PC98-NXシリーズ, DOS/Vマシン※1	
対応OS		Windows XP※2, Windows 2000	
CPU※3	Intel	Celeron 550MHz Pentium Ⅲ 550MHz	Pentium 4
	AMD	Athlon 550MHz Duron	
メモリ		64Mバイト	256Mバイト以上
ハードディスク	転送速度	UltraATA/33以上	
	空き容量※4	150Mバイト	4Gバイト以上
	ファイルシステム	―	NTFS
Windows グラフィック アクセラレータ※5	解像度	800×600ドット以上	
	画面の色	16ビットハイカラー以上	
	DirectDraw	オーバーレイに対応した環境	
	DirectX	DirectX 9以降※6	
PCIバススロット		PCI Rev.2.2以降のPCIバススロットが1つ必要	
サウンド		必須	
CD-ROMドライブ		インストール時に必要	

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2　「ユーザーの切り替え」には対応しておりません。「ユーザーの切り替え」を行う場合は、あらかじめ本製品に添付のソフトウェアを全て終了させてください。

※3　記載されているCPU以外には対応しておりません。

※4　録画保存用には、別途1分につき約220Mバイト必要です。

[AVI(DV形式)で録画する場合]

※5　種類やVRAMの容量によって表示条件(解像度、色数、リフレッシュレートなど)が制限される場合があります。

※6　サポートソフトからDirectX 9をインストールすることができます。

注意

他のキャプチャ製品との併用はできません
他のキャプチャ製品をお使いの場合、あらかじめ全て取り外し、それらの製品をアンインストールしてください。

接続できるDV機器

DV機器	DV端子を持ち、DVデータの入力に対応したDV機器

接続できる映像機器

接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはコンポジットビデオケーブルまたはSビデオケーブルが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

・ピンプラグ形状の映像出力端子を持つ映像機器
・Sビデオの映像出力端子を持つ映像機器

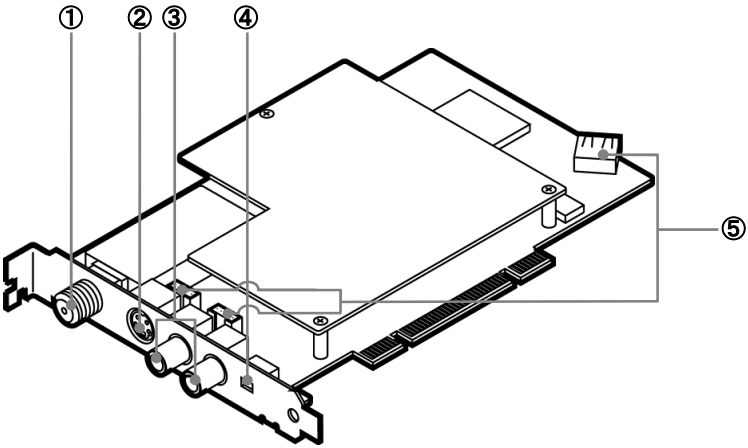
参考

映像機器との接続について
「Sビデオケーブル」と「コンポジットビデオケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります
あらかじめご了承ください。

著作権保護機能が入っている映像は表示・録画できません
DVDソフトなどの、著作権保護機能が入っている映像は、表示および録画できないようになっております。あらかじめご了承ください。

各部の名称・機能



① アンテナ入力	アンテナと接続します。
② Sビデオ入力端子	映像機器からの映像を入力します。
③ 音声入力端子	映像機器からの音声を入力します。
④ DV(IEEE 1394)端子(4ピン)	DV機器、 IEEE 1394機器と接続します。
⑤ GV-FRONT用端子	弊社製GV-FRONTと接続します。

注意

GV-FRONTと接続する場合、周囲の部品にケーブルを当てないようにする

ケーブルを部品に当ててしまうと、ケーブルや部品が破損するおそれがあります。スペースのない所に、無理にケーブルを配置しないでください。
特に、高温の部品にケーブルを接触させると、熱によってケーブルが破損するおそれがあります。

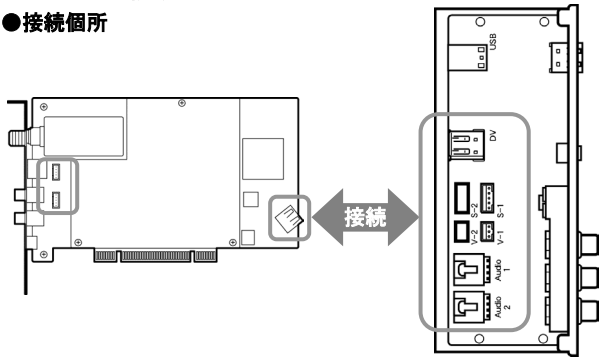
GV-FRONTと接続した場合、本製品に映像機器を直接接続しない

GV-FRONTと本製品の両方に映像機器を接続しないでください。

参考

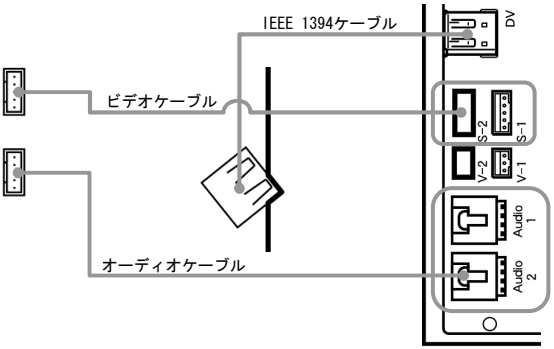
GV-FRONTとの接続

●接続個所



●接続

GV-FRONT側の「S」と「Audio」は同じ数字の所に接続してください。



GV-FRONTと接続するケーブルについて

・ビデオケーブル・オーディオケーブル
GV-FRONTに添付されています。
・IEEE 1394ケーブル（6ピン⇔6ピン）
別途ご用意ください。

GV-FRONTにコンポジット入力する場合

GV-FRONTの対応するSビデオ入力端子に、本製品添付の「Sビデオ変換アダプタ」を取り付けて、そちらに接続してください。

Memo

使えるようにしよう

取り付けよう……18

認識させよう……23

確認しよう……25

インストールしよう……27

チャンネル設定をしよう……30

予約録画の準備をしよう……32

取り付けよう

参考

作業する前に

本製品には「アンテナケーブル」、「Sビデオ（コンポジットビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

映像機器との接続について

「Sビデオケーブル」と「コンポジットビデオケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

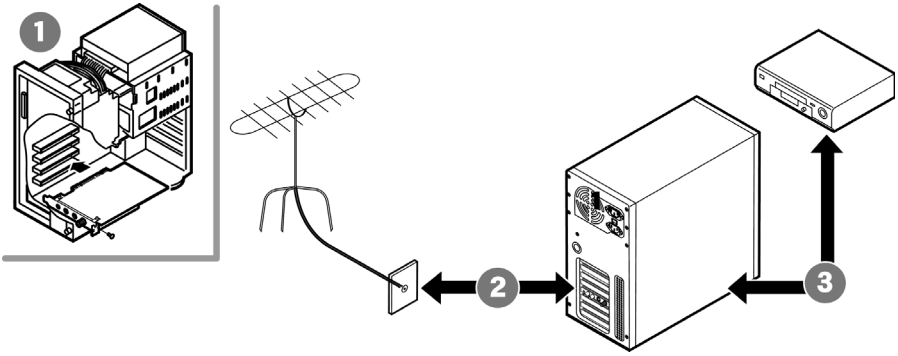
パソコンに取り付ける……19ページ

⬇

アンテナを接続する……20ページ

⬇

映像機器を接続する……22ページ



1 パソコンに取り付ける

1 パソコンの周辺機器およびパソコンの電源を切ります。

2 パソコンの電源ケーブルを電源コンセントから抜きます。

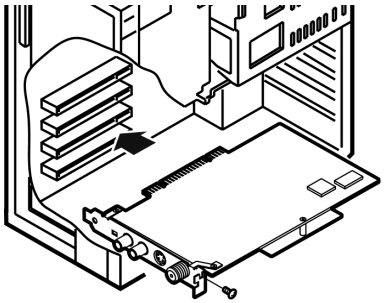
3 パソコンのカバーを取り外します。

方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 PCIバススロットのカバーを取り外します。

5 本製品を取り付けます。

・本製品がPCIバススロットに正しく差し込まれたことをご確認ください。
・パソコンによって取り付け位置が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



本製品上のネジや部品が、他の製品に触れないように十分注意する

本製品上のネジや部品が他の製品に触れたまま、パソコンの電源を入れると本製品や他の製品、およびパソコンが破損する原因となります。

GV-FRONTと接続する

詳しくは、参考の【GV-FRONTとの接続】(15ページ)をご覧ください。

6 本製品をネジで固定します。

ネジはPCIバススロットカバーのものをお使いください。

7 パソコンのカバーを元に戻します。

パソコンの電源ケーブルも、元に戻してください。

2 アンテナを接続する

参考

テレビを受信しない方へ

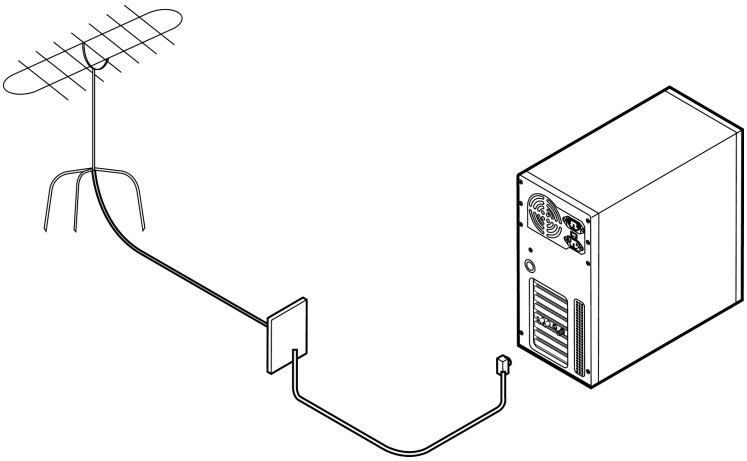
ここの作業は、本製品でテレビ番組を受信する方のみ必要です。
外部入力のみお使いになる場合は、アンテナとの接続は必要ありません。

外部アンテナに接続されたアンテナ線をお使いください

室内アンテナや共同アンテナでは電波がきれいに受信できない場合があります。

●テレビアンテナに接続する

本製品の「アンテナ入力」に「アンテナ線」を接続します。



参考

衛星放送は受信できません

ご了承ください。

CATVの場合、専用チューナーへの接続を必要とする場合があります

次ページの接続方法をご覧ください。

●ケーブルテレビの専用チューナーに接続する

参考

この場合、映像機器は接続できません

映像機器を接続したい場合は、専用チューナーを取り外してください。

1 本製品と専用チューナーを「アンテナケーブル」で接続します。

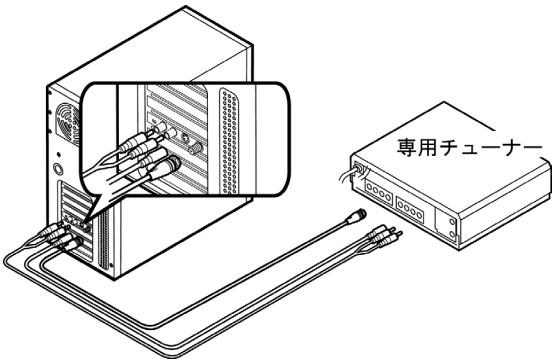
本製品の「アンテナ入力」と専用チューナーの「ケーブル出力」を「アンテナケーブル」で接続します。

2 本製品と専用チューナーをオーディオケーブルで接続します。

本製品の「音声入力」と専用チューナーの「音声出力」を、「オーディオケーブル」で接続します。

3 本製品と専用チューナーをSビデオケーブルで接続します。

本製品の「Sビデオ入力」と専用チューナーの「Sビデオ出力」を、「Sビデオケーブル」で接続します。



参考

Sビデオで接続できない場合

「Sビデオケーブル」の代わりに「コンポジットビデオケーブル」で接続することもできます。

ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

「コンポジットビデオケーブル」で接続する場合は、添付の「Sビデオ変換アダプタ」を本製品の「Sビデオ入力」に取り付けてください。

3 映像機器を接続する

参考

映像機器からの映像を入力しない方へ

この作業は、本製品に映像機器からの映像を入力する方のみ必要です。
映像機器からの映像を入力されない場合は、映像機器との接続は必要ありません。

一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります

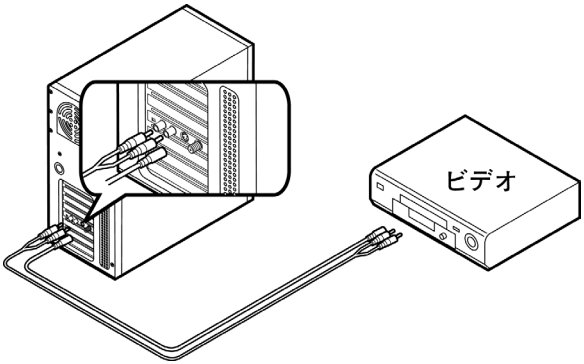
あらかじめご了承ください。

1 本製品と映像機器を「オーディオケーブル」で接続します。

本製品の「音声入力」と映像機器の「音声出力」を、「オーディオケーブル」で接続します。

2 本製品と映像機器をSビデオケーブルで接続します。

本製品の「Sビデオ入力」と映像機器の「Sビデオ出力」を、「Sビデオケーブル」で接続します。



参考

Sビデオで接続できない場合

「Sビデオケーブル」の代わりに「コンポジットビデオケーブル」で接続することもできます。
ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

「コンポジットビデオケーブル」で接続する場合は、添付の「Sビデオ変換アダプタ」を本製品の「Sビデオ入力」に取り付けてください。

認識させよう

本製品をWindowsで使えるようにします。

1 Windowsを起動します。

⇒本製品がWindowsに認識され、インストールの画面が表示されます。

参考

ユーザーについて

コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

2 Windowsによって、認識のされ方が異なります。

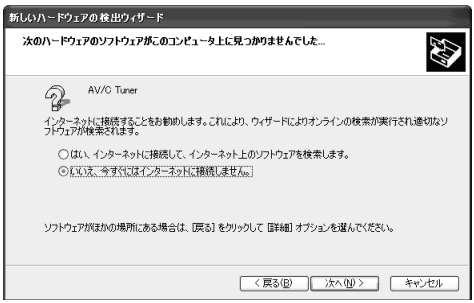
Windows XP

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

①［次へ］ボタンをクリックします。

②「インターネットに接続することをお勧めします。」と表示される場合があります。

その場合、［いいえ、今すぐにはインターネットに接続しません。］を選び、［次へ］ボタンをクリックします。



③［完了］ボタンをクリックします。

※「このハードウェアをインストールできません」と表示されますが、問題ありません。

④本製品を接続したときの動作を設定します。
［何もしない］を選択し、［常に選択した動作を実行する］に
チェックを付けます。その後、［OK］ボタンをクリックします。
※この設定は、お使いの用途によって変更していただいても問題ありません。

⑤【確認しよう】(次ページ)にお進みください。

Windows 2000

必要なドライバが自動的にインストールされます。
インストールが終わったら、【確認しよう】(次ページ)にお進みください。

確認しよう

本製品が正しくインストールされているかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

Windows XP

① ［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
② ［システム情報を表示する］をクリックします。

Windows 2000

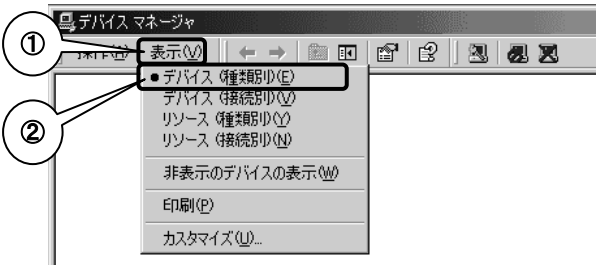
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」を開きます。

① ［ハードウェア］タブをクリックします。
② ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

3 ［種類別］の表示にします。

［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。



4 Windowsによって、確認方法が異なります。

下の項目を見る方法
その項目の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

Windows XP

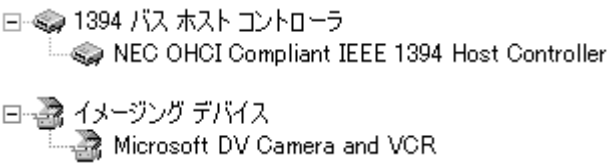
以下の項目をご確認ください。

- [1394バスホストコントローラ]
  ー [NEC OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]
- [イメージングデバイス] ー [AVC Compliant DV Tape Recorder/Player]
- [その他のデバイス] ー [AV/C Tuner]
  ※ [AV/C Tuner] に「！」マークが付いていますが、問題ありません。

Windows 2000

以下の項目をご確認ください。

- [1394バスホストコントローラ]
  ー [NEC OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]
- [イメージングデバイス] ー [Microsoft DV Camera and VCR]



本製品のドライバに[!]が付いている
【本製品のドライバに［！］マークが付いている】(89ページ)をご覧ください。

インストールしよう

サポートソフトから必要なソフトウェアをインストールします。

注意

ユーザーについて

コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 サポートソフトを挿入します。

サポートソフトCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入します。

⇒インストールメニューが起動します。

注意

インストールメニューが起動しない

「マイコンピュータ」を開き、［GV1394TV_xxx］→［DVMENU］の順にダブルクリックしてください。

※ xxxには数字（バージョン）が入ります。

下のようなエラー画面が表示された

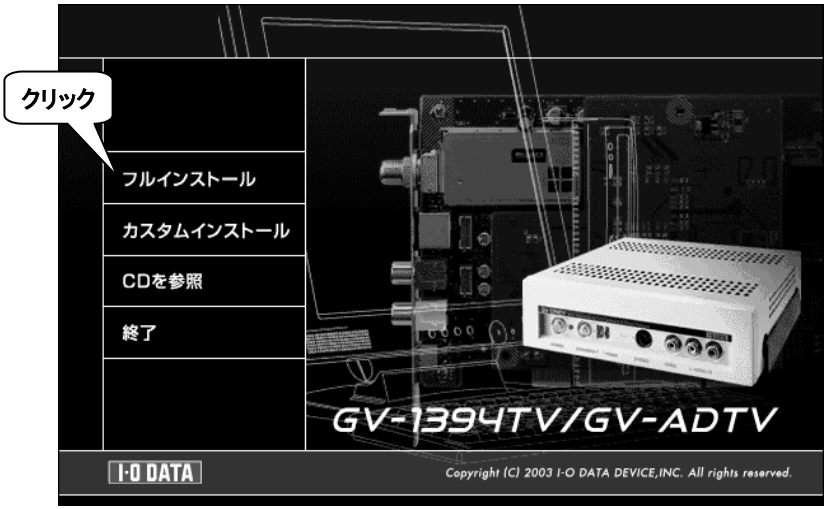
画面に表示されているソフトウェアをアンインストールしてください。

※なお、GV-1394TVをお使いだった場合、本製品のソフトウェアで引き続きお使いいただけます。

2 [フルインストール]をクリックします。

⇒インストール画面が表示されます。

「I-O DATA DigitalTV Recorder」「I-O DATA MediaSink」「Windows Media ランタイム」「DirectX 9 ランタイム」の順にインストール作業が行われます。



参考

カスタムインストール

「I-O DATA DigitalTV Recorder」「I-O DATA MediaSink」「Windows Media ランタイム」「DirectX 9 ランタイム」を個別にインストールできます。

CDを参照

CD-ROM内を表示します。

終了

インストールメニューを閉じます。

3 「I-O DATA DigitalTV Recorder」をインストールします。

画面の指示に従って、インストールしてください。
完了時に、再起動しないように［いいえ、あとでコンピュータを再起動します］を選んでから［完了］ボタンをクリックしてください。

参考

［デスクトップにショートカットを作成する］
インストール作業内にこのようなチェック項目があります。
これをチェックすると、Windowsのデスクトップ上に「I-O DATA DigitalTV Recorder」関係のアイコンを作ります。

4 「I-O DATA MediaSink」をインストールします。

画面の指示に従って、インストールしてください。

5 「Windows Media ランタイム」をインストールします。

①英語の使用許諾契約画面が表示されます。
　よくお読みになり、同意する場合は［Yes］ボタンをクリックします。
②もう一度、英語の使用許諾契約画面が表示されます。
　よくお読みになり、同意する場合は［Yes］ボタンをクリックします。
③インストールが終わったら、完了画面が表示されます。
　［OK］ボタンをクリックします。

参考

下のような画面が表示される場合がありますが、問題ありません
この画面が表示されても、動作には問題ありません。
［OK］ボタンをクリックし、作業を進めてください。

6 「DirectX 9 ランタイム」をインストールします。

画面の指示に従って、インストールしてください。
インストール後、再起動を要求された場合は、そのまま再起動します。

7 パソコンを再起動します。

チャンネル設定をしよう

本製品のチューナーを設定します。

1 「プリセットチャンネル設定」が起動します。

パソコンを再起動すると、「プリセットチャンネル設定」が起動します。

2 地域を選択します。

① ２つの設定ボックスを設定し、お住まいの地域を指定します。

② ［ロード］ボタンをクリックします。

⇒右の「チューナーチャンネル」「放送局名」にお住まいの地域に
あったチャンネルが設定されます。

3 設定したチャンネルを確認します。

右の「チューナーチャンネル」「放送局名」を確認し、普段ご覧のチャンネルが設定されていることを確認します。

参考

スキャンについて

［スキャン開始］ボタンを押すと、チューナーが認識したチャンネルが全て表示されます。
表示されたチャンネルを登録したい場合、右側の登録したい番号にドラッグ＆ドロップしてください。

iEPG放送局名について

iEPGからの録画指示は、この放送局名で行われます。
「地域選択」以外でチャンネルを設定した方は、iEPG放送局名も併せて設定してください。

4 [OK]ボタンをクリックします。

チャンネル設定は完了です。

予約録画の準備をしよう

環境を、予約録画できる状態に変更します。
この設定が行われていないと、予約録画に失敗するおそれがあります。

1 「画面のプロパティ」を開きます。

Windowsのデスクトップを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックしてください。

2 ［スクリーンセーバー］タブをクリックします。

3 「パスワードによる保護」を確認します。

「パスワードによる保護」にチェックがついていた場合は、チェックを外してください。

参考

「パスワードによる保護」の代わりに「再開時にようこそ画面に戻る」がある
「再開時にようこそ画面に戻る」のチェックを外してください。

4 ［電源］ボタンをクリックします。

⇒［電源オプション（電源の管理）］が起動します。

5 ［詳細設定（詳細）］タブをクリックします。

6 パスワードの設定を確認します。

［スタンバイ（状態）から回復するときにパスワードの入力を求める］
または
［スタンバイおよび休止状態からの回復時にパスワードを入力する］のチェックを外してください。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒［電源オプション（電源の管理）］が閉じます。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒［画面のプロパティ］が閉じます。これで設定は完了です。

パソコンで使ってみよう

アプリケーションについて…… 34

テレビを見る …… 35

録画する…… 41

静止画を撮る…… 54

録音する…… 55

再生する…… 57

MediaSinkでデータ管理する…… 60

DVDに書き込む …… 69

アプリケーションについて

本製品をパソコンで使うためのアプリケーションについて説明します。

●I-O DATA DigitalTV Recorder

テレビやビデオ機器からの映像を、DV(AVI)・MPEG・WMV・WAVE・BMP形式にキャプチャすることができるアプリケーションです。

●I-O DATA Channel Manager

予約録画の設定・管理を行うアプリケーションです。

●I-O DATA Channel Commander

本製品のチューナー・デバイス設定・チャンネルプリセット情報の設定を行うアプリケーションです。「DigitalTV Recorder」以外のDVキャプチャソフトで本製品を使って録画する時に使用します。

●I-O DATA MediaSink

録画したファイルを管理・再生するアプリケーションです。
また、映像データをMPEG-2やMPEG-4形式に変換することもできます。

●Ulead DVD MovieWriter 2 SE(Dolby Digital 対応版)
Ulead VideoStudio 7 SE
Ulead PhotoImpact 8 SE
Ulead Cool 3D 3 SE
reserMail

詳しくは、【サービス品のソフトウェア】(78ページ)をご覧ください。

テレビを見る

DigitalTV Recorderを起動する	本ページ
チャンネルを変更する	３８ページ
画面サイズを変更する	３９ページ
音声を切り換える	４０ページ

DigitalTV Recorder を起動する

● **[スタート]ボタンからDigitalTV Recorderを起動します。**

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→［DigitalTV Recorder］の順にクリックします。

参考

インストール時にデスクトップにショートカットを作成した場合

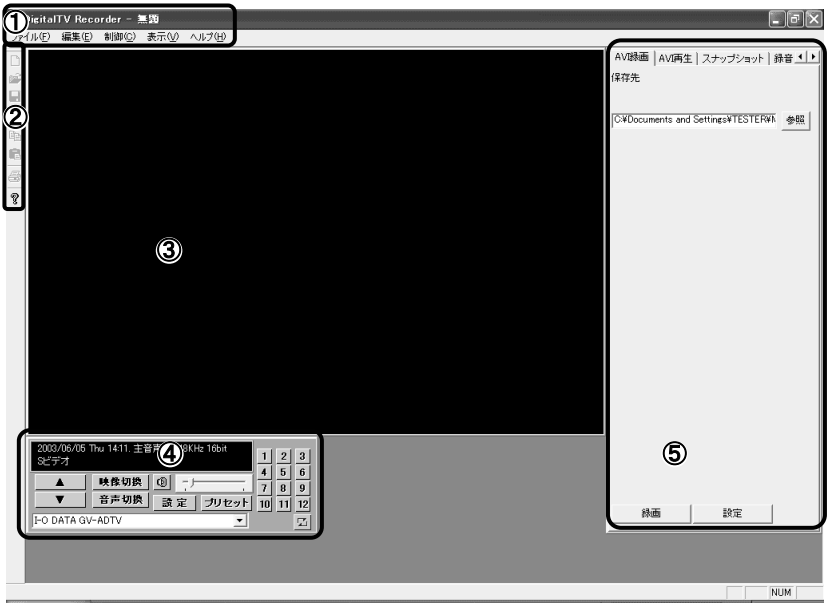
Windowsのデスクトップ上にアイコンが作られています。
これをダブルクリックすることでも、DigitalTV Recorderを起動できます。

DigitalTV Recorder

注意

DigitalTV Recorderが起動・動作中は、IEEE 1394機器を取り外さない

正しく動作しなくなったり、録画中のデータが破損するおそれがあります。



① メニュー	操作・設定のためのメニューを表示します。 詳しくは、ヘルプをご覧ください。
② アイコン	？：クリックすると、ヘルプを表示することができます。
③ プレビューウィンドウ	チューナーや映像機器からの映像などが表示されます。
④ コントロールウィンドウ	本製品を操作・設定のためのウィンドウです。 次ページの【コントロールウィンドウ】をご覧ください。
⑤ ファンクションパネル	それぞれのタブで、操作・設定を行えます。 詳しい操作は、ヘルプをご覧ください。 ［AVI録画］［MPEG録画］［WMV録画］タブ 【録画する】(41ページ) ［AVI再生］タブ 【再生する】(57ページ) ［スナップショット］タブ 【静止画を撮る】(54ページ) ［録音］タブ 【録音する】(55ページ)

●コントロールウィンドウ

① 番組情報	現在日時、主・副音声表示、オーディオ周波数、オーディオレベルメーター、現在のプリセットチャンネルを表示します。
② チャンネルアップ/ダウン	クリックすると、現在のプリセットチャンネルより１つ上下します。
③ 映像切換	クリックするたびに、［Sビデオ］→［ビデオ］→［チューナー］の順に切り換えられます。
④ 音声切換	音声多重放送の場合、クリックするたびに［主音声］→［副音声］→［主副］→［主音声］の順に切り換えられます。
⑤ ミュート	クリックすると、音声が最小になります。 もう一度クリックすると、解除されます。
⑥ 音量スライダー	左右に動かすことで音量を増減します。 右に動くほど音量は大きくなります。
⑦ 設定	画質などの設定を行います。 詳しくは、ヘルプをご覧ください。
⑧ プリセット	プリセットチャンネルを設定します。
⑨ 接続機器情報	ソフトウェアが使っている機器名を表示します。
⑩ チャンネル切換	設定したプリセットチャンネルに切り換えます。 は、プリセットチャンネルのページを切り換えます。

チャンネルを変更する

●プリセットチャンネルを切り換える

１～４８のボタンをクリックし、チャンネルを切り換えます。

１２個のボタンを表示していますので、切り換えたいチャンネルがない場合は、 をクリックし、プリセットチャンネルのページを切り換えます。

また、［チャンネルアップ/ダウン］ボタンをクリックし、切り換えることができます。

参考

プリセットチャンネルを設定する

コントロールウィンドウの［プリセット］ボタンをクリックすることで、「プリセットチャンネル設定」が起動します。

設定については、【チャンネル設定をしよう】(30ページ)をご覧ください。

●映像機器の映像に切り換える

1 映像機器の電源を入れます。

ビデオデッキなどの場合は、再生してください。

2 [映像切換]ボタンをクリックします。

⇒接続した外部入力になれば、映像が表示されます。

画面サイズを変更する

1 プレビューウィンドウを右クリックします。

⇒右クリックメニューが表示されます。

2 変更したいサイズをクリックします。

⇒プレビューウィンドウの画面サイズが変更されます。

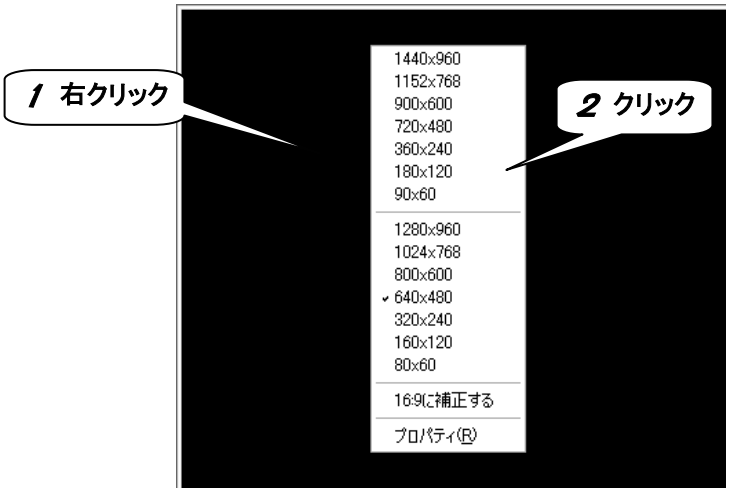
参考

16:9に補正する

プレビューウィンドウ内に、16:9の比率で映像を表示します。

プロパティ

映像についての設定を行えます。
詳しくは、ヘルプをご覧ください。



音声を切り換える

●[音声切換]ボタンをクリックします。

音声多重放送の場合、［副音声］→［主副］→［主音声］→［副音声］…と、音声が切り換えられます。

主音声	音声多重放送時、チューナー音声として主音声を選択します。
副音声	音声多重放送時、チューナー音声として副音声を選択します。
主副	音声多重放送時、チューナー音声として左チャンネルに主音声、 右チャンネルに副音声を選択します。

録画する

今見ている映像を録画する	４２ページ
予約録画する	４４ページ
他のソフトウェアで録画する	４７ページ
DV機器からの映像を録画する	４９ページ
DVDに直接録画する	５１ページ

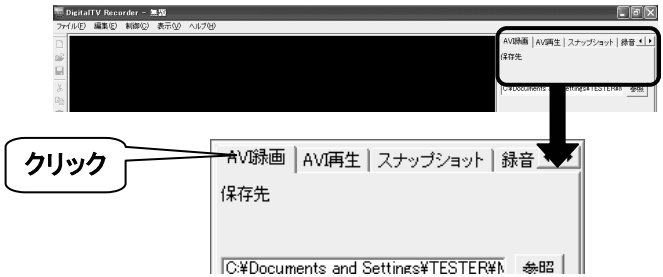
今見ている映像を録画する

DigitalTV Recorderで見ている映像を録画する方法を説明します。
なお、説明している手順は、最も高画質なAVI(DV形式)で録画する方法です。

1 録画したい映像を表示します。

方法については、【テレビを見る】(35ページ)をご覧ください。

2 [AVI録画]タブをクリックします。



参考

本製品で録画できるファイル形式

本製品では、AVI(DV形式)，MPEG，WMV(Windows Media Video)形式で録画することができます。
録画したい形式のタブを選べば、その形式で録画することができます。

AVI(DV形式)の利点

・ビットレートに換算して25Mbps！
DVDビデオを上回る高画質のデジタルデータとなります。

・フレーム単位で編集ができる
フレーム単位でのみ圧縮を行うため、フレーム単位で高精度な編集が可能となります。
動画編集にこだわる人に最適のデータ形式です。

・音声データは無圧縮のため、高音質

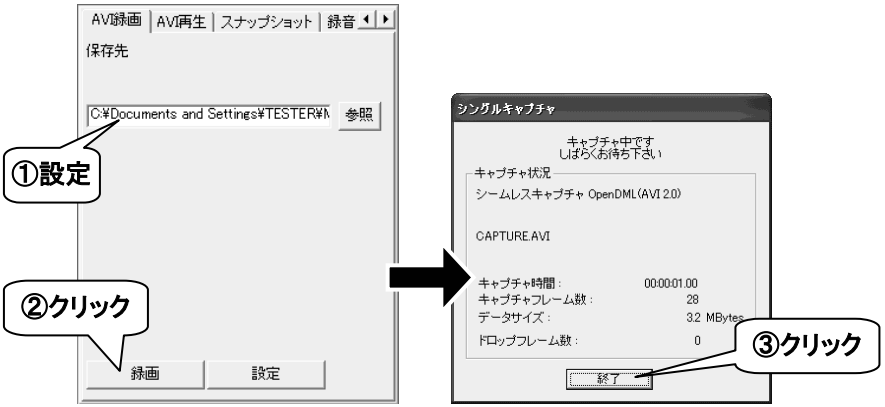
3 録画します。

① 「保存先」に録画する映像データのファイル名を設定します。

② ［録画］ボタンをクリックします。

⇒録画用画面が表示され、録画が開始されます。

③ 録画を終了するときは、［終了］ボタンをクリックします。



参考

キャプチャ時間を指定する

タブによっては、この項目が存在します。

ここにチェックを付けると、設定した時間だけ録画を行います。

[設定]ボタン

それぞれの録画設定を行えます。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

録画容量の目安

AVI（DV形式）での録画で、1分間で約220Mバイトとなります。

その他の形式では、これを上回ることはありません。

録画データの最大容量

AVI※	約2Gバイト
AVI 2.0(OpenDML)※	FAT32‥‥‥‥‥約4Gバイト NTFS‥‥‥‥‥‥約2Tバイト
MPEG	
WMV	

※ ［AVI録画］タブ内の［設定］ボタンで設定できます。

予約録画する

Channel Managerを使って予約録画する方法を説明します。

1 iEPG対応Webページを開きます。

参考

インターネット接続環境が必要です

iEPG対応Webページで番組を選ぶまでの間、インターネット接続している必要があります。

Channel ManagerでiEPG対応Webページを開く

タスクバー内のChannel Managerアイコンを右クリックし、表示されたメニューにある［iEPGサイトを開く］をクリックします。

注意

地域をご確認ください

お住まいの地域とiEPG対応Webページの地域が合っていないと、正しく録画されないおそれがあります。

2 予約録画したい番組を指定します。

⇒「Channel Manager」が起動します。

参考

iEPG対応Webサイトの操作について

それぞれのWebページの案内をご覧ください。

3 予約録画の設定を確認・設定します。

① 録画する番組のチャンネルを確認・設定します。

② 録画する音声を確認・設定します。

主・副音声　　主音声を左音声(L)、副音声を右音声(R)に設定します。

③ 「番組名」「番組内容コメント」を確認・設定します。

④ 「録画ファイル名」を確認・設定します。

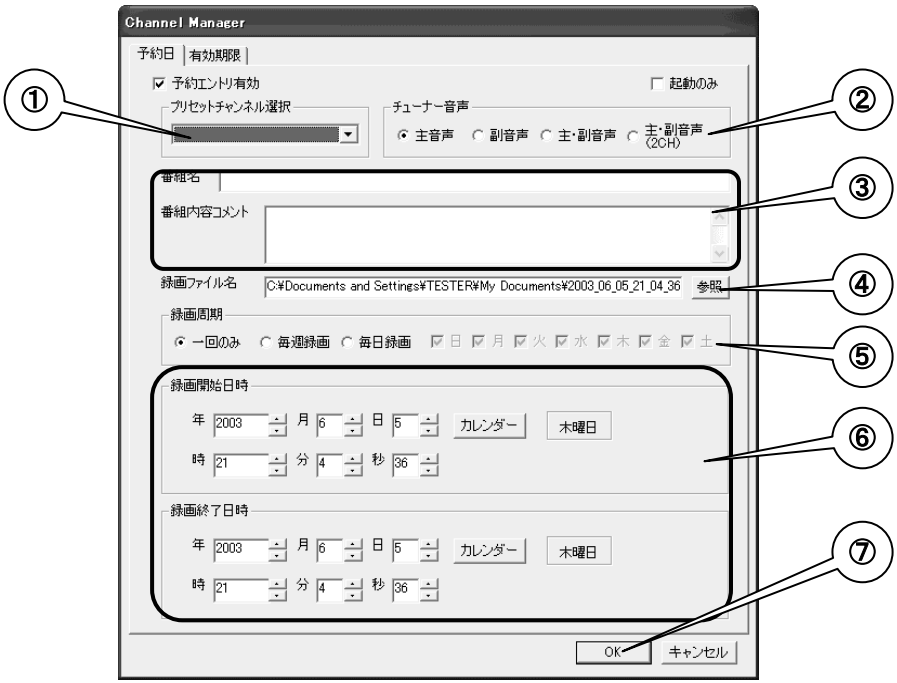
⑤ 「録画周期」を確認・設定します。

毎週録画　　毎週、指定した曜日・時間に録画を行います。

毎日録画　　毎日、指定した時間に録画を行います。

⑥ 「録画開始日時」「録画終了日時」を確認・設定します。

⑦ [OK] ボタンをクリックします。



参考

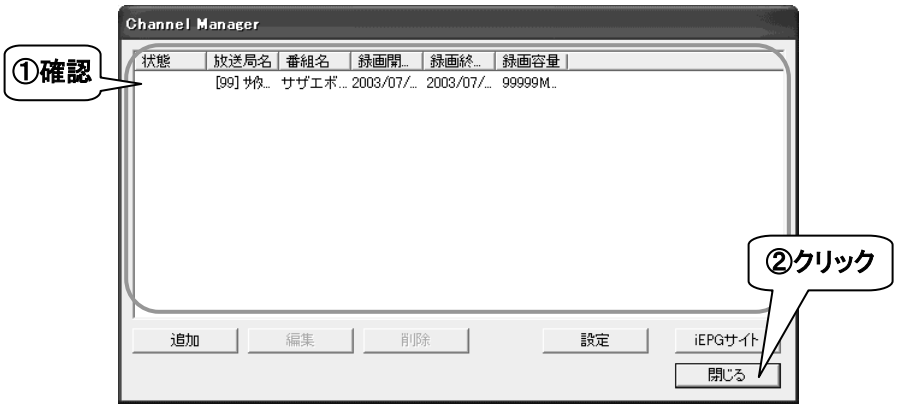
[有効期限]タブ

予約設定の有効期限を設定します。

「毎週録画」や「毎日録画」をお使いの場合に、設定します。

4 録画予約が一覧にあることを確認します。

確認したら、［閉じる］ボタンをクリックします。



予約録画の準備は完了です。

「Channel Manager」を終了しないでください

「Channel Manager」を終了していると、設定した予約録画を実行できません。

予約録画の設定がある場合は、「Channel Manager」を終了しないでください。

※ 「Channel Manager」はタスクバーに常駐しています。
タスクバー内のアイコンを右クリックして［常駐を終了する］を選べば、終了することができます。

予約録画を設定後、プリセットチャンネルの設定を変更しないでください

予約録画を設定した後で、プリセットチャンネルの設定（放送局やチューナーチャンネルなど）を変更した場合、正しく予約録画が動作しない可能性があります。

録画予約を変更・削除する

「Channel Manager」を起動し、対象となる録画予約を選んで、［編集］［削除］ボタンをクリックしてください。

録画されるAVIファイルの設定について

「DigitalTV Recorder」の［AVI録画］タブ内の設定と同じ設定となります。

他のソフトウェアで録画する

添付の「Ulead VideoStudio 7 SE」や「Ulead DVD MovieWriter 2 SE」などのDV録画に対応したソフトウェアでは、本製品の映像を録画することができます。

1 録画するソフトウェアを、DV録画を行える状態にします。

DV録画の方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

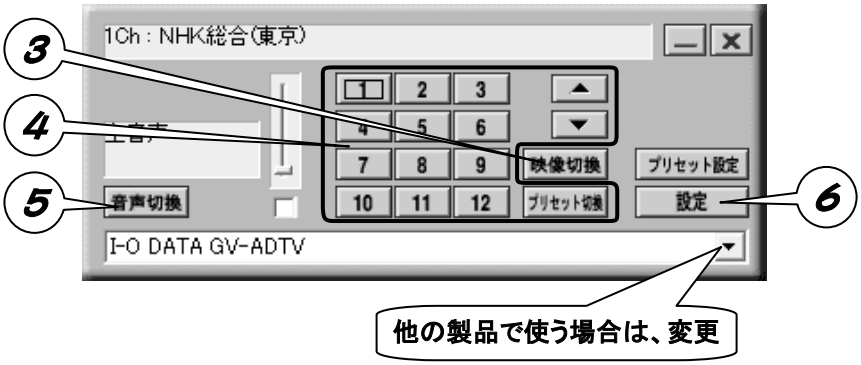
2 「Channel Commander」を起動します。

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→[Channel Commander]の順にクリックします。

参考

インストール時にデスクトップにショートカットを作成した場合

Windowsのデスクトップ上にアイコンが作られています。
これをダブルクリックすることでも、Channel Commanderを起動できます。



参考

使用製品を切り換える

「Channel Commander」を本製品以外（弊社製 GV-1394TVなど）で使う場合は、画面下の製品名を変更してください。

3 録画する映像を表示させます。

録画するソフトウェアに映像が表示されていない場合、［映像切換］ボタンをクリックします。
数回クリックすれば、映像が表示されます。

4 テレビ番組を録画する場合は、チャンネルを変更します。

テレビ番組を録画する場合、録画する番組にチャンネルを変更します。

［1］～［48］：それぞれのプリセットチャンネルに変更します。
［▲］［▼］：現在のチャンネルの前後の、設定されているプリセットチャンネルに変更します。
［プリセット切換］：プリセットページを切り換えます。

5 音声多重のテレビ番組を録画する場合は、音声を設定します。

多重音声番組の場合、［音声切換］ボタンで音声を切り換えることができます。

6 [設定]ボタンを押し、画質調整を行います。

詳しい設定については、［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→［GV-1394TV GV-ADTV ヘルプ］をご覧ください。

7 録画します。

録画方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

DV 機器からの映像を録画する

本製品のDV端子に接続したDV機器からの映像を、「Ulead VideoStudio 7 SE」で録画することができます。

参考

ここで説明されている手順は作業例です

実際の作業を行う際は、「Ulead VideoStudio 7 SE」のオンラインマニュアルも併せてご覧ください。

1 「Ulead VideoStudio 7 SE」を起動します。

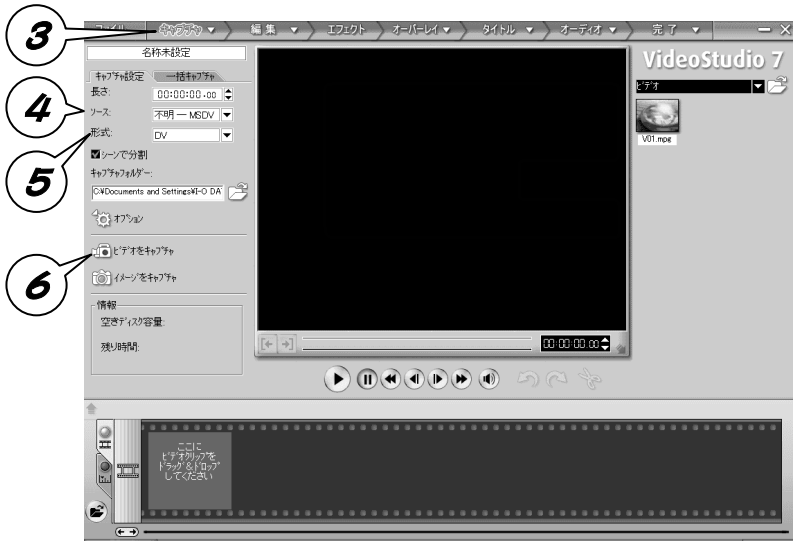
2 DV機器を本製品のDV端子に接続します。

① DV機器の電源を入れます。

② 用意したIEEE 1394ケーブルで、DV機器を本製品のDV端子に接続します。

3 [キャプチャ]をクリックします。

⇒録画用の画面に変わります。



4 [ソース]で接続したDV機器を選びます。

ソースの選択肢が複数ある場合は、切り換えて確認してください。

⇒接続したDV機器の映像が表示されます。

表示されない場合は、再生などの作業を行ってください。

5 [形式]で録画する形式を選びます。

参考

オプション

「ビデオキャプチャプロパティ」などでは、録画について詳しく設定できます。

シーンで分割

このチェックボックスにチェックを付けると、録画した日時などにより、録画される映像が分割されます。

6 [ビデオをキャプチャ]をクリックします。

⇒録画が始まります。

終了するときは、［キャプチャ終了］をクリックします。

DVD に直接録画する

「Ulead DVD MovieWriter 2 SE」を使って、DVDに直接録画する方法を説明します。

参考

ここで説明されている手順は作業例です

実際の作業を行う際は、「Ulead DVD MovieWriter 2 SE」のオンラインマニュアルも併せてご覧ください。

後からDVDに書き込む

【DVDに書き込む】(69ページ)をご覧ください。

1 「Ulead DVD MovieWriter 2 SE」を起動します。

2 DVDのプロジェクトを作成します。

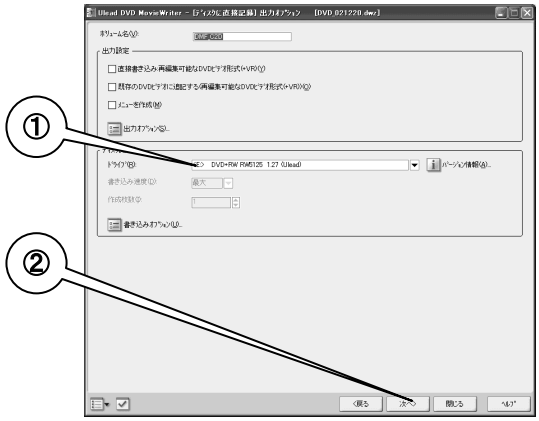
①［ディスクに直接記録］をクリックします。

②［次へ］ボタンをクリックします。

3 書き込みをするDVDドライブを設定します。

①「ディスクレコーダ」の［ドライブ］でDVDドライブを指定します。

②［次へ］ボタンをクリックします。



4 必要な場合は、映像機器から映像を入力します。

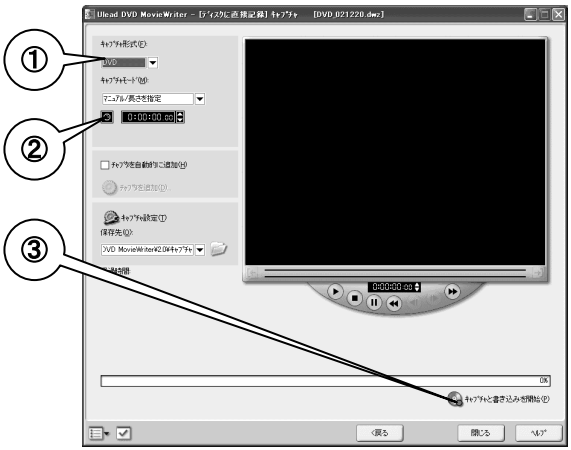
映像機器の電源を入れてください。
ビデオデッキなどは再生してください。

5 「Channel Commander」を起動し、録画する映像を表示します。

【他のソフトウェアで録画する】(47ページ)をご覧ください。

6 DVDへの録画を開始します。

①「キャプチャ形式」を［DVD］に設定します。
② で録画時間を入力します。
③［キャプチャと書き込みを開始］をクリックします。
⇒DVDへの録画が開始されます。



静止画を撮る

1 静止画を撮りたい映像を表示します。

方法については、【テレビを見る】(35ページ)をご覧ください。

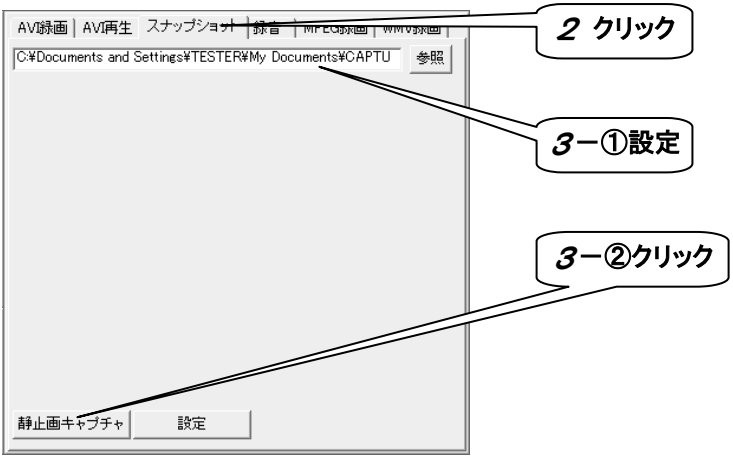
2 [スナップショット]タブをクリックします。

3 撮影します。

① 撮影する静止画データのファイル名を設定します。

② ［静止画キャプチャ］ボタンをクリックします。

⇒静止画がBMP形式で撮られます。



参考

撮影される静止画のファイル形式

サイズ：720×480　　カラー：24bit RGB　　形式：BMP

ファイル名の連番について

「スナップショット」パネル内で右クリックすることで、「ファイル名を自動生成する」を設定することができます。

これにチェックを付けた場合、ファイル名が自動的に連番で設定されます。

[設定]ボタン

撮影する静止画の設定を行えます。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

これで静止画を撮ることができました。

録音する

1 録音したい映像を表示します。

方法については、【テレビを見る】(35ページ)をご覧ください。

2 [録音]タブをクリックします。

3 録音します。

① 録音する音声データのファイル名を設定します。

② チャンネルを選べる場合は、設定します。

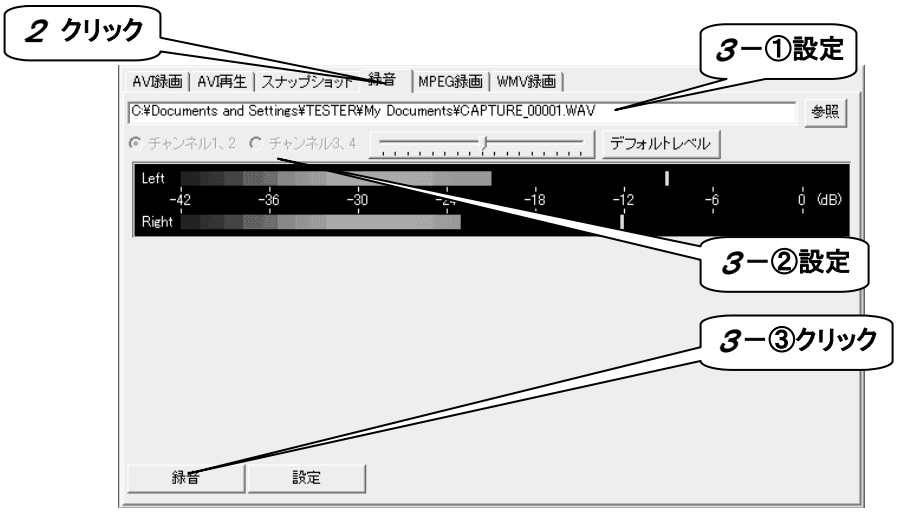
チャンネル1、2　主音声を録音します。

チャンネル3、4　副音声を録音します。

※ 録音するデータが音声多重の場合に、設定することができます。

③ ［録音］ボタンをクリックします。

⇒「音声キャプチャ」画面が表示されます。



録音時は、必ず映像も入力してください

映像が入力されていない場合、正しく録音できないことがあります。

録音されるデータのファイル形式

形式：Windows WAVE

参考

スライダー
中央から左に行くほど音量を大きく、右に行くほど音量を小さく設定します。

[デフォルトレベル]ボタン
スライダーを中央に戻します。

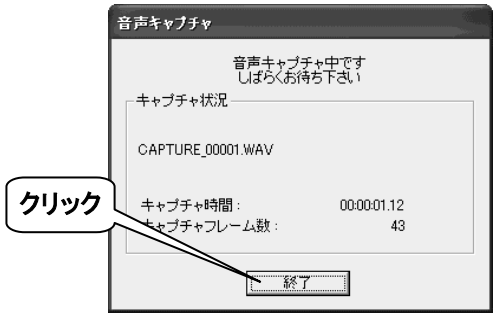
[設定]ボタン
元となる映像と録音する音声データを同期するかどうか設定できます。
詳しくは、ヘルプをご覧ください。

ファイル名の連番について
「録音」パネル内で右クリックすることで、「ファイル名を自動生成する」を設定することができます。
これにチェックを付けた場合、ファイル名が自動的に連番で設定されます。

録音する音声データのサンプリング周波数について
本体で設定した元になるデータに合わせて、自動的に設定されます。
詳しくは、【音声の周波数を設定する】(74ページ)をご覧ください。

4 録音を終了するときは、[終了]ボタンをクリックします。

⇒録音が終了されます。



これで録音することができました。

再生する

AVIファイルを再生する	５７ページ
その他のファイルを再生する	５９ページ

AVI ファイルを再生する

ここでの方法は、DigitalTV Recorderを使うものです

他の方法でも再生することができます。こちらの方法もご覧ください。

【その他のファイルを再生する】(59ページ)

【MediaSinkでデータ管理する】(60ページ)

1 [AVI再生]タブをクリックします。

2 再生したいファイルを、プレイリストに追加登録します。

再生したいAVIファイルを、プレイリストにドラッグ＆ドロップします。

プレイリストの内容を保存する

［リスト保存］ボタンをクリックすることで、プレイリストをファイルに保存できます。

読み込むときは、［リスト読み込み］ボタンをクリックしてください。

3 再生します。

▶ ボタンをクリックします。

⇒プレイリストに登録されているファイルが、上から順に再生されます。

1つのファイルだけを再生する

再生したいファイルを右クリックし、［AVIファイルを再生する］をクリックすることで、「ファイル再生」画面が表示されます。

詳しくはヘルプをご覧ください。

参考

再生中の操作

- ▶ ····· プレイリストを再生する
- ■ ····· プレイリストの再生を停止します。
- ⏸ ····· プレイリストの再生を一時停止します。
- ⏮ ····· 映像を１フレーム戻して一時停止します。
- ⏭ ····· 映像を１フレーム進めて一時停止します。
- ··· プレイリストの再生位置を変更します。
  一番左がファイルの先頭、一番右がファイルの末尾です。

これで再生することができました。

その他のファイルを再生する

エクスプローラなどで、再生したいファイルをダブルクリックしてください。
関連付けられたアプリケーションが起動し、再生されます。

MPEGファイルを再生できない

【MPEGファイルを再生できない】(102ページ)をご覧ください。

WMVファイルを再生できない

【WMVファイルを再生できない】(102ページ)をご覧ください。

MediaSinkでデータ管理する

MediaSinkを使えば、本製品で録画・録音したファイルを管理することができます。

参考

ここでの方法は、使用例です
詳しい操作方法については、MediaSinkのヘルプをご覧ください。

MediaSinkを起動する	本ページ
データを入力する	本ページ
データを見る	62ページ
データを管理する	63ページ
データを探す	64ページ
MPEGファイルに変換する	67ページ

MediaSink を起動する

● [スタート]ボタンからMediaSinkを起動します。

[スタート] → [（すべての）プログラム] → [I-O DATA MediaSink] → [MediaSink] の順にクリックします。

データを入力する

●入力トレイからデータを入力する

1 入力トレイの[1394TV]ボタンをクリックします。

⇒今までに録画したAVIファイルのデータが表示されます。

注意

録画したAVIファイルのデータが表示されない

録画してから移動したAVIファイルのデータは表示されません。
移動先から、【エクスプローラからデータを入力する】(本ページ)の方法で入力してください。

2 MediaSinkに入力するデータを選びます。

参考

複数のデータを選ぶ

［Ctrl］キーを押しながら、データをクリックしてください。

全てのデータを選ぶ

［編集］→［全てを選択］の順にクリックします。

3 [MediaSinkへ移動]ボタンをクリックします。

⇒選んだデータがMediaSinkに入力されます。

参考

入力トレイから入力されたデータについて

実際のファイルが、MediaSinkにコピーされたわけではありません。
そのため、MediaSinkにデータを入力後に、そのデータのファイルを移動・削除すると、入力されたデータも消えてしまいます。

●エクスプローラからデータを入力する

1 Windowsのエクスプローラでデータを探します。

2 データを「MediaSink」へドラッグ &ドロップします。

⇒データがMediaSinkに入力されます。

参考

エクスプローラから入力されたデータについて

実際のファイルが、MediaSinkにコピーされています。
そのため、MediaSinkにデータを入力後に、そのデータのファイルを移動・削除しても問題ありません。

データを見る

●サムネイルを見る

1 サムネイル表示にします。

［表示］→［サムネイル］の順にクリックします。

⇒データがサムネイル表示されます。

2 サムネイルを見やすい大きさに変更します。

［サムネイルサイズ変更］スライダーバーを動かしてください。

●データを見る

見たいデータをダブルクリックしてください。

関連付けられたアプリケーションが起動し、再生されます。

データを管理する

MediaSinkでは、「グループ」というものの中にデータを入れることができます。

●グループを作る

1 [グループ作成]ボタンをクリックします。

⇒「グループ作成/変更」画面が表示されます。

参考

もう1つの作成方法

作成したい位置のグループを右クリックし、表示される［グループ作成］をクリックすることで、その下に新しいグループを作ることができます。

2 新しいグループの名前を入力します。

名前を入力したら、［OK］ボタンをクリックします。

⇒現在選択している場所の下に新しくグループが作成されます。

参考

グループの削除・名称変更

①削除・名称変更したいグループを右クリックします。

②表示された［グループ削除］または［グループ名変更］をクリックします。

●グループへのデータ移動

移動したいデータを、移動したいグループにドラッグ＆ドロップします。

⇒データが移動します。

データを探す

●「メディアデータ検索」による検索

1 ［検索ウィザード起動］ボタンをクリックします。

⇒「メディアデータ検索」画面が表示されます。

2 検索条件を設定します。

条件を設定し、［条件追加］ボタンをクリックします。

⇒右側に条件が追加されます。

参考

条件の削除

削除したい条件を選び、［条件削除］ボタンをクリックします。

条件の保存・読み込み

設定した条件を［保存］［読み込み］ボタンにより、保存・読み込みすることができます。

3 [検索開始]ボタンをクリックします。

⇒設定した条件による検索が開始されます。

検索の結果は画面の下にあるリストに表示されます。

参考

検索結果の反映

［検索済みデータグループにコピー］ボタンや［検索済みデータグループに移動］ボタンをクリックすることで、検索されたデータを「検索済みデータ」グループにコピー／移動できます。

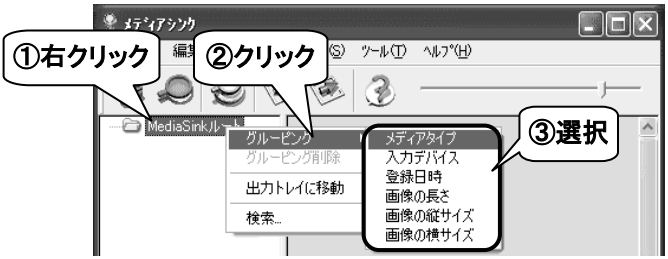
●「グルーピング」による検索

1 ［自動振り分けグループ］モードにします。

［自動振り分けグループ］タブをクリックします。

2 「グルーピング」します。

グループを右クリックし、［グルーピング］をクリックします。
さらにその横の振り分け条件を選んでください。
⇒自動的にグループが作成され、その中にデータが振り分けられます。



3 「グルーピング」を繰り返してデータを探します。

グルーピングされたグループをさらにグルーピングすることで、データを探すことができます。

MPEG ファイルに変換する

1 「出力トレイ」を表示します。

［出力トレイ表示］ボタンをクリックします。
⇒「出力トレイ」が表示されます。

2 出力したい動画データを、出力トレイに表示します。

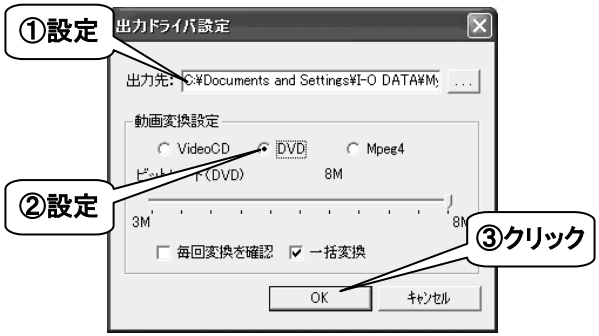
出力したい動画データを、出力トレイにドラッグ＆ドロップします。
⇒動画データが出力トレイに表示されます。

3 「出力ドライバ設定」を開きます。

出力トレイの［ファイル］→［プロパティ］を開きます。
⇒「出力ドライバ設定」画面が表示されます。

4 「動画変換設定」を[DVD]に設定します。

① 「出力先」に、MPEGファイルを作成する場所を設定します。
② 「動画変換設定」を［DVD］に設定します。
③ ［OK］ボタンをクリックします。



5 動画データを選んで、START ボタンをクリックします。

出力トレイの動画データを選んで、START［出力開始］ボタンをクリックします。

⇒動画データがメディアコンバータに移動されます。

メディアコンバータが、動画データをMPEGファイルに変換します。

DVDに書き込む

添付の「Ulead DVD MovieWriter 2 SE」を使って、録画した映像をDVDにする方法を説明します。

ここで説明されている手順は作業例です

実際の作業を行う際は、「Ulead DVD MovieWriter 2 SE」のオンラインマニュアルも併せてご覧ください。

DVDに直接録画する

【DVDに直接録画する】(51ページ)をご覧ください。

1 DVDに書き込みたい映像を録画します。

【録画する】(41ページ)をご覧ください。

DVDに書き込むことのできる録画データ

「DigitalTV Recorder」で録画データを用意する場合、下表の形式で録画を行ってください。

AVI	［設定］ボタンで、「AVIファイル形式」を［VfW標準AVI］または［OpenDML(AVI 2.0)］に設定。
MPEG	［設定］ボタンで、「出力形式」を［DVD］に設定。

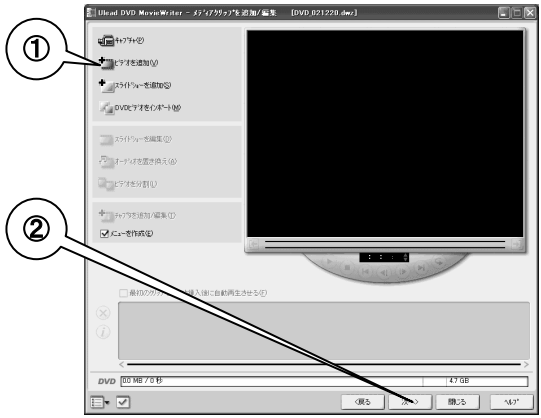
2 「Ulead DVD MovieWriter 2 SE」を起動します。

3 DVDのプロジェクトを作成します。

①［プロジェクトの作成］をクリックします。
②［新しくプロジェクトを作成する］をクリックします。
③「出力ディスク形式」を［DVD］に設定します。
④［次へ］ボタンをクリックします。

4 録画したファイルを追加します。

①［ビデオを追加］をクリックします。
⇒ファイルを開く画面が表示されます。録画したファイルを開いてください。複数追加する場合は、この作業を繰り返してください。
②［次へ］ボタンをクリックします。



参考

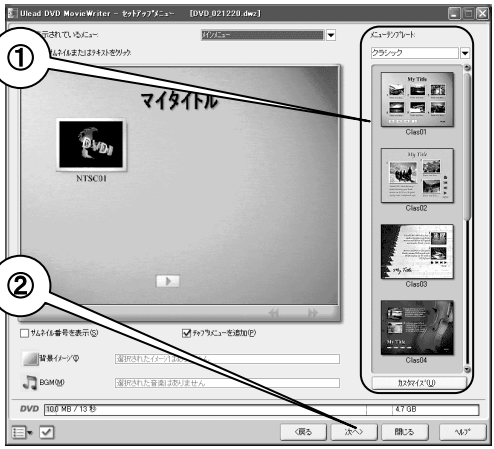
追加した映像にチャプタを追加する

［チャプタを追加/編集］をクリックすることで、選択した映像にチャプタを追加できます。詳しくは、「Ulead DVD MovieWriter 2 SE」のオンラインマニュアルをご覧ください。

5 メニューを設定します。

①「メニューテンプレート」を選択します。

②［次へ］ボタンをクリックします。



6 出来上がりイメージを確認します。

確認したら、［次へ］ボタンをクリックします。

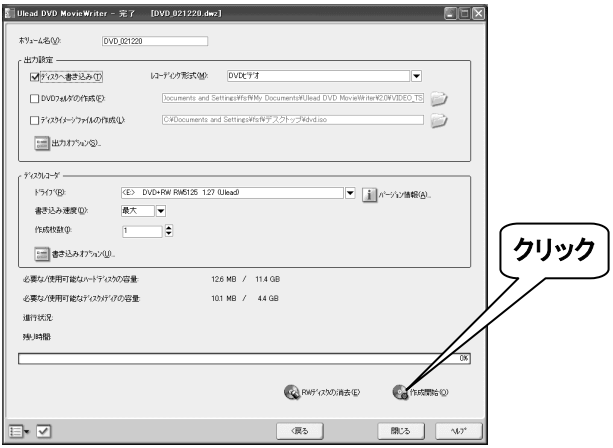
7 DVDに書き込みます。

①［ディスクへ書き込み］にチェックを付けます。

②「ディスクレコーダ」の［ドライブ］でDVDドライブを指定します。

③［作成開始］をクリックします。

⇒DVDの作成が開始されます。



付録

本製品の設定 …… 74

サポートソフトの削除 …… 76

サービス品のソフトウェア …… 78

IEEE 1394について …… 81

用語解説 …… 84

困った時には …… 88

仕様 …… 106

本製品の設定

音声の周波数を設定する

1 「GV-ADTVハードウェア設定」画面を表示します。
「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。

2 [DV Codec]タブをクリックします。

3 「音声周波数設定」を設定します。

4 [OK]ボタンをクリックします。

Locked Audio を設定する

1 上を参考に[DV Codec]タブを表示します。

2 「音声同期設定」を設定します。

3 [OK]ボタンをクリックします。

参考

Unlocked Audioモードについて
Locked Audioモードは、映像と音声の同期を取り、ズレを軽減します。
ですが、非標準信号(ビデオのメニュー画面やゲーム機の映像など)の映像は同期が取れないため、逆にズレやノイズが発生することがあります。
そのようなときは、Unlocked Audioモードに設定してください。

本製品の設定を初期化する

1 本製品に接続された全てのIEEE 1394機器を取り外します。

2 「GV-ADTV初期化」を起動します。

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→［GV-ADTV初期化］の順にクリックします。

3 [はい]ボタンをクリックします。

⇒本製品の初期化が始まります。

4 [OK]ボタンをクリックします。

⇒本製品の初期化は完了です。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。

参考

サービス品のソフトウェアの削除
各ソフトウェアのオンラインマニュアル(80ページ)などをご覧ください。

注意

ユーザーについて
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

I-O DATA DigitalTV Recorder の削除

1 「コントロールパネル」を開きます。

［スタート］（→［設定］）→［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 ［アプリケーション(プログラム)の追加と削除］を起動します。

3 「I-O DATA DigitalTV Recorder」を削除します。

［I-O DATA DigitalTV Recorder］を選び、［変更と削除(変更/削除、追加と削除)］ボタンをクリックします。

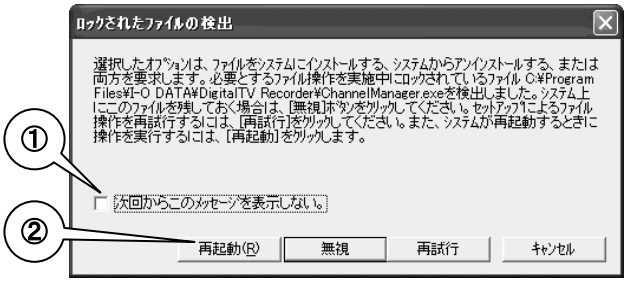
⇒削除の作業が開始されます。後は、画面の指示に従ってください。

注意

「ロックされたファイルの検出」画面が表示された場合

① ［次回からこのメッセージを表示しない。］にチェックを付けます。

② ［再起動］ボタンをクリックします。



I-O DATA MediaSink の削除

1 「コントロールパネル」を開きます。

［スタート］（→［設定］）→［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 ［アプリケーション（プログラム）の追加と削除］を起動します。

3 「MediaSink」を削除します。

［MediaSink］を選び、［変更と削除（変更/削除、追加と削除）］ボタンをクリックします。

⇒削除の作業が開始されます。後は、画面の指示に従ってください。

注意

「共有ファイルの検出」画面が表示された場合

①［次回からこのメッセージを表示しない。］にチェックを付けます。

②［はい］ボタンをクリックします。

サービス品のソフトウェア

添付されているサービス品のソフトウェアについて説明します。

入っているソフトウェア

●Ulead VideoStudio 7 SE

本製品で録画した映像を編集したり、本製品の映像を直接録画することができる、デジタルビデオ編集ソフトです。

ビデオフィルタ、トラジション（場面転換）効果、オーバーレイクリップ、アニメーションタイトル機能などの多彩な機能を搭載しています。

●Ulead DVD MovieWriter 2 SE(Dolby Digital 対応版)

本製品で録画した映像を使ってDVDを作ったり、本製品の映像を直接DVDに録画できる、オーサリングソフトです。

AC-3形式でオーディオ圧縮したDVDディスクを作ることもできます。

●Ulead PhotoImpact 8 SE

本製品で保存した静止画を編集することができる、静止画編集ソフトです。

簡単さ、使いやすさは、以前のバージョンそのままに、多彩な新機能を搭載し、従来からの機能がさらに強化されています。
HTML出力も充実し、イメージ編集からWebページ制作まで総合力を発揮します。

●Ulead Cool 3D 3 SE

複雑な作業を行うことなく、ダイナミックな3Dタイトルやアニメーションを作ることができる、タイトル作成ソフトです。

●reserMail

外出先のパソコンや携帯電話（iモード、J-SKY、EZweb）から、自宅のパソコンに録画予約できます。

インストール方法

●Uleadのソフトウェア

UleadのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

●reserMail

① サポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
② ［CDを参照］をクリックします。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。
③ ［reserMail］→［Setup］の順にダブルクリックします。
⇒インストール画面が表示されます。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

参考

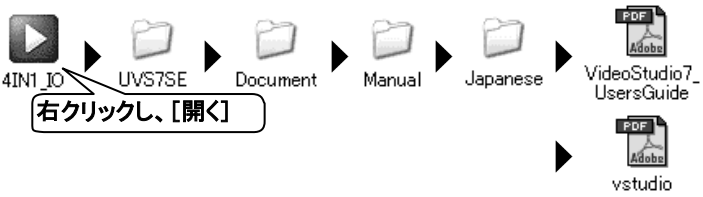
詳しい方法について
reserMailの［Setup］と同じフォルダに、「reserMail」というpdfファイルがあります。そちらをご覧ください。

使用方法

各ソフトウェアの使用方法については、ヘルプもしくはオンラインマニュアルをご覧ください。

●オンラインマニュアルの参照方法

VideoStudio 7 SE



DVD Movie Writer 2 SE

PhotoImpact 8 SE

Cool 3D 3 SE

reserMail, 前ページの参考をご覧ください。

参考

オンラインマニュアルを見るにはAcrobat Readerが必要です

インストールされていない場合は、インストールしてください。

Acrobat Readerのインストール方法

①UleadのCD-ROMを挿入し、表示されたインストールメニューを終了します。
②「Cool 3D 3 SE」のオンラインマニュアルと同じフォルダにある
[ar505jpn] をダブルクリックしてください。
あとは、画面の指示に従ってください。

IEEE 1394について

IEEE 1394 とは？

●IEEE 1394(アイトリプルイー イチサンキューヨン)

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple Computer, Inc.で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。FireWireやi.LINKなどもその一種。
ソニー株式会社がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

●i.LINK(アイリンク)

IEEE 1394を本格的に普及させるために、ソニー株式会社が提唱する呼称。

●FireWire(ファイヤーワイヤー)

IEEE 1394のベースになった規格。
Apple Computer,Inc.とTexas Instruments社で提唱された。

IEEE 1394 機器の接続方法

参考

記号の説明

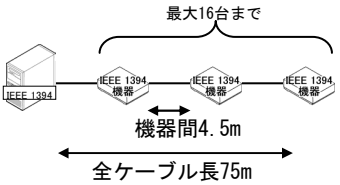
IEEE 1394ポート搭載パソコン

IEEE 1394機器

●正しい接続方法

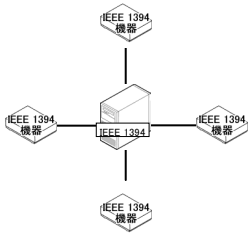
デイジーチェーン

機器同士を、じゅず状につなげる方法。



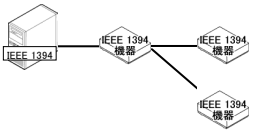
スター

IEEE 1394インターフェイスを中心にスター(星)状につなげる方法。



ツリー

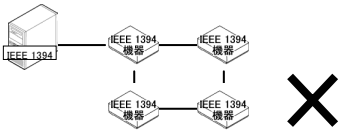
各機器から枝別れさせてつなげる方法。



●誤った接続方法

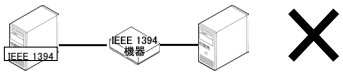
ループ

IEEE 1394インターフェイスおよび機器間をループ状につなげる方法。



共有

複数のパソコンで機器を共有するようにつなげる方法。



IEEE 1394 機器の接続可能台数

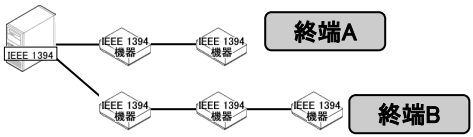
IEEE 1394ポートには最大63台のIEEE 1394機器を接続できます。

ただし、Windows側の制限などによって全ての機器を使えません。

IEEE 1394 ケーブルの最大本数

IEEE 1394インターフェイスと終端のIEEE 1394機器の間に最大16本のケーブルを使うことができます。

下の図では、終端Aまでは2本、終端Bまでは3本のケーブルを使っています。



複数の IEEE 1394 機器の取り外し

複数のIEEE 1394機器を連続して接続している場合は、終端より順に取り外してください。

用語解説

2D NR[ツーディー エヌアール]
(two Dimension Noise Reduction)
ノイズ除去・低減処理の一種。
映像信号の微小な変動をノイズとみなして処理を行う。
残像など、時間軸方向のノイズは現れないが、映像の細かい部分が潰れてしまうことが多い。

2D Y/C 分離[ツーディー ワイシー ぶんり]
(two Dimension Y/C)
Y/C 分離方式の一種。
映像の隣り合う水平ライン間の相関を利用して、輝度信号(Y)と色信号(C)の分離を行う。

3D NR[スリーディー エヌアール](three Dimension Noise Reduction)
ノイズ除去・低減処理の一種。
ノイズは時間軸方向に対する相関が低いため、それを利用してノイズを低減させる。
映像のシャープさを損なわずにノイズを低減することができる反面、時間軸方向で変化の大きな映像では残像などのノイズが発生しやすい。

3D Y/C 分離[スリーディー ワイシー ぶんり]
(three Dimension Y/C)
Y/C 分離方式の一種。
映像の時間軸方向の相関を利用して、輝度信号(Y)と色信号(C)の分離を行う。
静止画において高品質なY/C 分離が行える反面、映像が動いている領域に対して適用すると、残像や網状のノイズがあらわれる。

ACL[エーシーエル]
(Automatic Contrast Limitter)
映像の平均的な明るさを調べてコントラストを自動調節することで、階調の再現性を上げる機能。

AGC[エージーシー](Auto Gain Control)
信号の振幅レベルに合わせて信号の増幅率を調整する機能。

APL[エーピーエル](Average Picture Level)
平均映像レベル。

CGMS-A[シージーエムエス エー]
(Copy Generation Management System – Analog)
コピーガード信号の一種。

DirectX[ダイレクトエックス]
グラフィックスやサウンド、アニメーション、ムービーなどを扱うための
Microsoft社のマルチメディア技術の総称。

DMA転送[ディーエムエー]
データ転送方式の一種。CPUを介さずに、デバイス⇔メモリ間で直接データを転送する。専用のコントローラが転送制御を行うため、CPUの負荷が軽減される。

Dolby Digital [ドルビーデジタル]
Dolby Laboratoriesが開発した音声の符号化方式。AC-3とも呼ばれる。
DVDやLDの音声圧縮形式として採用されている。

DVフォーマット[ディーブイふぉーまっと]
(Digital Video)
民生用デジタルVCRで採用されている圧縮形式。圧縮はフレームごとに行う。
映像部分のビットレートは約25Mbps。

FourCC[フォーシーシー]

AVIファイルに使用されているCodecを識別するコード。
Windows標準のDV Codecの場合、'dvsd'が使用される。

f特[エフとく]

周波数特性のこと。
A/D（アナログ/デジタル変換）、D/A（デジタル/アナログ変換）を繰り返すことによって劣化していく。

GCR信号[ジーシーアールしんごう]
(Ghost Cancel Reference)

ゴースト低減処理用の基準信号。

ITU-R[アイティーユー アール]
(International Telecommunication Union Radiocommunication Sector)

国際電気通信連合の無線通信部門。
ITU-R BT.601は、ビデオ信号のデジタル化に関するITU標準勧告。
「BT.601」は、Broadcasting service (television)の601番目の勧告を示す。

Locked Audio[ロックド オーディオ]

映像信号を基準に音声を同期させる、映像と音声の同期方式。
映像の同期信号から生成したクロックで音声をサンプリングするので、長時間のキャプチャでも映像と音声のずれが生じにくい。
ただし、ビデオデッキのメニュー画面、ゲーム機の映像などの非標準信号を入力した時は、映像の同期信号に音声をうまくロックさせることができず、ノイズが発生することがある。

MPEG[エムペグ]
(Moving Picture (coding) Experts Group)

ISO（国際標準化機構）とIEC（国際電気標準会議）のワークグループである団体名、またはそれに策定されたデジタル動画を圧縮する技術。

MPEG-2[エムペグツー]

MPEG-1の拡張規格。
ISO（国際標準化機構）とIEC（国際電気標準会議）のワークグループ「MPEG」によって策定され、1995年に国際標準規格（ISO/IEC13818）となった。
MPEG-2は、現行のテレビ品質からスタジオ品質のHDTV（High Definition Television）までの動画再生をサポートしている。
現在は、DVDや衛星、地上波のデジタルTV放送などに使われている。

R-Y軸補正[アールワイじくほせい]

色合いを補正する機能。

TBC[ティービーシー](Time Base Corrector)

ビデオテープ再生時、ヘッドの回転ムラやテープの走行ムラに起因する映像の時間軸変動を補正する機能。

Unlocked Audio[アンロックド オーディオ]

映像と音声の同期手法で、映像と音声の同期を取らない方式。
映像と音声がそれぞれ独立したクロックでサンプリングされるので、長時間のキャプチャ時に映像と音声のずれが生じる場合がある。

インターレース

「くし」状の表示を2回行うことで、1枚の画を表示する方式。
そのため、ノンインターレースのモニタにインターレース映像を表示した場合、動き部分に「くし」状のノイズが発生する。

動き検出

3D Y/C 分離などの映像の時間軸方向に対する処理は、動画像に対して適用するとノイズが発生する。
そのため、映像の動き部分を検出し、その部分に対しては時間軸方向の処理を行わないようにする機能。

動き補償

映像の動きに応じて、最適な3D処理の方法を選択する処理。

擬似10bit出力

8bitデジタル出力時、下位ビットに誤差拡散を行うことによって疑似的に10bit出力を行う機能。

クリップ

映像の上下左右端を、指定された幅だけ黒く塗り潰す処理。

黒伸張補正

夜景などで本来暗い部分が暗くならない時など、暗い部分のコントラストを上げることによって映像にメリハリを付ける機能。

ゴースト

ある信号に対して、反射や遅延によって付加された余分な信号のこと。
映像信号では物が二重、三重像に見える。
一般に、テレビ映像のゴースト像は視聴者から見て対象物の右側に現れる。
視聴者から見て対象物の左側に現れるゴーストは、前ゴーストという。

コピーガード信号

コンテンツのコピー制限を行うため、著作権者によって映像コンテンツに付加されている信号。

サブコントラスト

輝度信号の増幅率。

サブカラー

色信号の増幅率。
Cbサブカラー(青)、Crサブカラー(赤)の二種類がある。

白ピーク補正

映像の極端に明るい部分のコントラストを調節することで、白飛びを抑える機能。

デインターレース

インターレース映像を、何らかの手段でノンインターレース映像に変換する処理。
プログレッシブ化とも呼ばれる。
インターレース映像をPCのモニタ上に表示させると、動きの激しい部分に「くし」状のノイズが現れるが、デインターレース処理を行うと軽減される。

ノンインターレース

上から順に画像を表示し、1枚の画を完成させる方式。

ビートノイズ

近接した二つの周波数の信号が干渉することで発生するノイズ。
チューナーからの映像に、薄い「しま」状のノイズとして現れることが多い。

標準信号

水平同期信号と色信号のインターリーブ関係が成立した信号。
通常のテレビ放送やビデオ入力の映像は標準信号である。

なお、ゲーム機の映像やビデオデッキのメニュー画面などは、非標準信号が多い。
非標準信号は、3D Y/C分離などの信号処理が行えず、Locked Audioモードも使用できない。

プログレッシブ変換

PCのモニタ上でインターレース映像を表示した際に発生する、「くし」状のノイズを除去する処理。

マクロビジョン(Macrovision)

一般に広く使用されているコピーガード信号の一種。

輪郭強調

映像内の物体の輪郭を検出し、強調する処理。
シャープネスの操作では映像のノイズも強調されてしまうが、輪郭強調機能を使用すればノイズを増やさずに映像のシャープさを増すことができる。

リンギング

映像信号の変化の大きな部分で、信号が波打ったように変化した状態。デジタルフィルタの特性によって発生することがある。

困った時には

●使えるようにする時の問題……89

現象	ページ
本製品のドライバに［！］マークが付いている	89

●弊社製ソフトウェアで使用時の問題……90

現象	ページ
プレビューウィンドウに映像が表示されない	90
プレビューウィンドウの表示が、コマ送りになる	91
録画した物を再生すると、音声と映像がずれている	
表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない	92
iEPGサイトで録画予約できない	
映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない	93
キャプチャした映像の色が薄く感じられる	94
プレビューウィンドウに、「くし」形のノイズが表示される	
ゴーストが表示される	95
入力した映像がとぎれてしまう	
3D Y/C分離が働いていない	96
3D NRが働いていない	98
チューナーからの映像のリンギングがひどい	100
チューナーからの映像にビートノイズが表示される	
プレビューウィンドウの映像と音声がずれる	101
プレビューウィンドウの映像がちらつく	
Channel Commanderが突然終了した	102
MPEG録画できない	
MPEGファイルを再生できない	
WMVファイルを再生できない	

●他社ソフトウェアで使用時の問題…… 103

現象	ページ
本製品の映像が表示されない	１０３
プレビュー表示が、コマ送りのようになる	１０４
映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない	
録画した物を再生すると、音声と映像がずれる	１０５
表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない	

使えるようにする時の問題

本製品のドライバに[！]マークが付いている

原因1 **Windows XPを使っている**

Windows XPで表示される［AV/C Tuner］は、2003年7月現在Microsoft社よりドライバが供給されていません。
そのため、［！］マークが付いていますが、問題なくお使いいただけます。

原因2 **本製品が正しく認識されていない**

［！］マークが付いているドライバを［削除］ボタンで削除します。
その後、本製品をパソコンから抜き差ししてください。

弊社製ソフトウェアで使用時の問題

プレビューウィンドウに映像が表示されない

原因1 入力切換が正しくない

映像機器が接続されていない外部入力の設定になっているなどの可能性があります。
［入力切換］ボタンを押し、映像が映るまで映像入力を切り換えてください。

原因2 映像信号が入力されていない

本製品とアンテナが正しく接続されていることを確認してください。
また、本製品と映像機器が正しく接続されていることも確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器が再生状態になっていることも確認してください。

原因3 パソコンの表示解像度やリフレッシュレートの値が大きい

パソコンやグラフィックボードの取扱説明書をご覧になり、パソコンの表示解像度やリフレッシュレートを低く設定してみてください。

プレビューウィンドウの表示が、コマ送りになる

原因1 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2 フレームレートが低くなっている

プレビューウィンドウを右クリックし、表示されたプロパティをクリックします。
それぞれのタブの「フレームレート」の値を大きくしてください。

原因3 MPEGかWMVで録画している

MPEGやWMVでの録画は、パソコンに多くの負荷をかけます。
そのため、プレビューがコマ送り・コマ落ちになる場合があります。

録画した物を再生すると、音声と映像がずれている

原因1 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2 古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。

表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない

原因1 ソフトウェアの設定値が異常である

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［全チャンネルで同じ設定を使用する］にチェックします。
③ ［デフォルト］ボタンをクリックします。
④ ［はい］ボタンをクリックします。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2 本製品の設定値が異常である

【本製品の設定】(74ページ)をご覧になり、本製品の設定値を初期化してください。

iEPGサイトで録画予約できない

原因 iEPGサイトとプリセットチャンネルの地域設定が異なる

iEPGサイトが正しい地域のものであるかをご確認ください。

iEPGサイトが正しい地域の場合は、下の設定をお試しください。
① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［プリセット（設定）］ボタンをクリックします。
⇒「プリセットチャンネル設定」画面が表示されます。
② 「地域選択」内を正しく設定します。
③ ［OK］ボタンをクリックします。

映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない

原因1 **・映像機器との接続が正しくない**
・接続した映像機器から音声が出力されていない

本製品と映像機器が正しく接続されていることを確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器から音声が入力されていることも確認してください。

原因2 **Windowsやソフトウェアの音声がミュートになっていたり、小さくなっている**

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］の順にクリックしてください。
［ボリュームコントロール］［WAVE］のミュートにチェックが付いていないか確認してください。チェックが付いていたら外してください。また、音声を大きくしてみてください。

原因3 **パソコンにサウンドデバイスがない**

パソコンにサウンドデバイスを増設してください。

原因4 **MPEG録画を行っている**

MPEG録画中は、音声再生が行われません。
録画されるMPEGファイルは、正常に音声を再生できます。

キャプチャした映像の色が薄く感じられる

原因 **本来の映像信号のまま出力されている**

テレビなどでは、映像信号を調整してから表示されています。
本製品は、初期設定では映像信号をそのまま表示しているため、テレビに比べて薄い色に感じられる場合があります。

「画質調整」でお好みの画質に調整してください。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［画質調整］タブをクリックします。
③ 画質の調整を行います。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

プレビューウィンドウに、「くし」形のノイズが表示される

原因 **デインターレースの設定が低い**

プレビューの「デインターレース」設定を高めに設定することで解消する可能性があります。

① プレビューウィンドウを右クリックします。
② 表示された［プロパティ］をクリックします。
⇒「プレビューウィンドウのプロパティ」画面が表示されます。
③ 「デインターレース設定」を、［通常］や［高品質］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

ゴーストが表示される

原因1 受信状態が極端に悪い

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

原因2 ゴースト低減機能が使われていない

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［ゴースト低減］タブをクリックします。
③ 「動作モード」を［ゴースト低減ON］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

入力した映像がとぎれてしまう

原因1 コピーガード情報が検出された

本製品は、Sビデオやビデオ入力からコピーガード信号を検出すると、映像の出力を停止します。
約10秒以上コピーガード信号が検出されなかった時点で、映像の出力を再開します。

原因2 古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。
また、【本製品の設定】(74ページ)をご覧になり、「Unlocked Audioモード」に設定すれば、改善される場合があります。

3D Y/C分離が働いていない

原因1 3D処理機能がOFFになっている

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［3Dノイズ除去］タブをクリックします。
③ 「3Dノイズ除去モード」を［3D NR ON］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2 受信状態が極端に悪い

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

原因3 古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。

原因4 Sビデオで入力している

Sビデオの信号はすでに分離された状態です。
そのため、3D Y/C分離を行えません。

映像機器によっては、コンポジットで入力し、本製品で3D Y/C分離を行った方が、きれいに表示されることがあります。

原因5 ビデオのメニュー画面やゲーム機などの映像である

これらの映像は、標準信号から外れていることがあります。
その場合は、3D Y/C分離を行えません。

原因6 動きの激しい映像である

3D Y/C分離は、動きのある部分には適用されません。
下の作業を行い、動きを検出される部分を減らすことで、改善される場合があります。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［Y/C分離・ノイズ除去］タブをクリックします。
③ ［上級設定を許可する］にチェックをつけます。
④ 「動き検出」の［感度］を小さく設定するか、［強制静止指定］に設定します。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

テレビ番組を表示中、輝度が定期的に少しだけ変動する

原因 ゴースト検出状態が更新されている

ゴースト低減処理では、約4分40秒毎にゴースト検出状態が更新されます。
ゴースト検出状態が更新された時、映像に僅かな輝度変動が生じる場合があります。
ゴースト低減機能の仕様ですので、回避したい場合はゴースト低減機能を使用しないでください。

3D NRが働いていない

原因1 映像のノイズレベルが十分に低い

映像のノイズレベルが低い場合、3D NRの効果をほとんど実感できないことがあります。

原因2 3D NRの値が小さい

指定されている「3D NR強度」が小さい場合、3D NRの効果が十分に発揮されないことがあります。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［3Dノイズ除去］タブをクリックします。
③ 「3D NR 強度」の値を大きく設定します。
一度［OK］ボタンをクリックし、解決しなかった場合のみ、次へ進みます。
※ただし、値を大きくすると、残像が表示されてしまうことがあります。
④ ［上級設定を許可する］にチェックをつけます。
⑤ ［輝度動き補償を行う］、［色差動き補償を行う］のチェックを外します。
※ただし、動き補償を行わない設定にすると、大量の残像が表示されてしまうことがあります。
⑥ ［OK］ボタンをクリックします。

3D NRを使用した時、残像が発生する

原因 **3D NRの値が大きい**

指定されている「3D NR強度」が大きい場合、残像が表示されてしまうことがあります。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［3Dノイズ除去］タブをクリックします。
③ 「3D NR 強度」の値を小さく設定します。
一度［OK］ボタンをクリックし、解決しなかった場合のみ、次へ進みます。
④ ［上級設定を許可する］にチェックをつけます。
⑤ ［輝度動き補償を行う］、［色差動き補償を行う］がチェックされていない場合は、チェックします。
一度［OK］ボタンをクリックし、解決しなかった場合のみ、次へ進みます。
⑥ 「動き補償強度」を「強い」に設定します。
⑦ ［OK］ボタンをクリックします。

チューナーからの映像のリンギングがひどい

原因 **受信状態が良いのに、ゴースト低減機能を使っている**

受信状態が良い場合は、ゴースト低減処理が逆効果となる場合があります。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［ゴースト低減］タブをクリックします。
③ 「動作モード」を［ゴースト低減OFF］や［スルー出力］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

チューナーからの映像にビートノイズが表示される

原因 **受信状態が悪い**

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

また、チューナーの微調整もお試しください。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［チューナー］タブをクリックします。
③ 「周波数微調整」を調整します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

プレビューウィンドウの映像と音声がずれる

原因 **設定に比べ、パソコンのスペックが不足している**

PC のスペックが不足しているため、プレビュー表示の映像と音声の同期処理が正常に行われていない可能性があります。

① プレビューウィンドウを右クリックします。
② 表示された［プロパティ］をクリックします。
⇒「プレビューウィンドウのプロパティ」画面が表示されます。
③ 「デインターレース設定」を、［通常］や［なし］に設定します。
④ 「フレームレート」の値を小さく設定します。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

プレビューウィンドウの映像がちらつく

原因 **デインターレースの設定が「高品質」になっている**

デインターレースの設定が「高品質」の場合、テロップなどの文字周りでちらつきが目立つことがあります。

① プレビューウィンドウを右クリックします。
② 表示された［プロパティ］をクリックします。
⇒「プレビューウィンドウのプロパティ」画面が表示されます。
③ 「デインターレース設定」を、［通常］や［なし］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

Channel Commanderが突然終了した

原因 **DigitalTV Recorderを起動した**

DigitalTV Recorderは、Channel Commanderの機能を全て使用可能です。
そのため、DigitalTV Recorderが起動すると、Channel Commanderは自動的に終了します。

MPEG録画できない

原因 **弊社の別製品に添付されている「DVworks」をアンインストールした**

【I-O DATA DigitalTV Recorderの削除】(76ページ)をご覧になり、DigitalTV Recorderをアンインストールしてください。
その後、【インストールしよう】(27ページ)をご覧になり、もう一度DigitalTV Recorderをインストールしてください。

MPEGファイルを再生できない

原因 **CODECがインストールされていない**

「Ulead VideoStudio」や「Ulead DVD MovieWriter」をインストールしてください。同時にCODECがインストールされます。

WMVファイルを再生できない

原因 **メディアプレーヤーが最新ではない**

「Windows Update」などからメディアプレーヤーを最新のものにアップデートしてください。

他社ソフトウェアで使用時の問題

本製品の映像が表示されない

原因1 入力切換が正しくない

映像機器が接続されていない外部入力の設定になっているなどの可能性があります。
「Channel Commander」の［入力切換］ボタンを押し、映像が表示されるまで映像入力を切り換えてください。
また、他社ソフトウェア側で正しく本製品から映像を入力する設定にしてください。

原因2 映像信号が入力されていない

【パソコンに取り付ける】(19ページ)をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器が再生状態になっていることも確認してください。

原因3 パソコンの表示解像度やリフレッシュレートの値が大きい

パソコンやグラフィックボードの取扱説明書をご覧になり、パソコンの表示解像度やリフレッシュレートを低く設定してみてください。

原因4 本製品が認識されていない

【パソコンに取り付ける】(19ページ)をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
また、【確認しよう】(25ページ)をご覧になり、本製品が使える状態になっていることを確認してください。

プレビュー表示が、コマ送りのようになる

原因1 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2 プレビューのフレームレートが低くなっている

お使いのソフトウェアのプレビュー用フレームレートを、高めに設定してください。

※ ソフトウェアによっては、フレームレートを変更できない場合があります。

映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない

原因1 ・映像機器との接続が正しくない
・接続した映像機器から音声が出力されていない

本製品と映像機器が正しく接続されていることを確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器から音声が入力されていることも確認してください。

原因2 Windowsやソフトウェアの音声がミュートになっていたり、小さくなっている

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］の順にクリックしてください。
[Wave/DirectSound/MP3]のミュートにチェックが付いていないか確認してください。チェックが付いていたら外してください。
また、音声を大きくしてみてください。

原因3 ソフトウェアが、プレビュー中に音声を再生しない

プレビュー中に音声を再生しないソフトウェアがあります。

原因4 パソコンにサウンドデバイスがない

パソコンにサウンドデバイスを増設してください。

録画した物を再生すると、音声と映像がずれる

原因 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない

原因1 ソフトウェアの設定値が異常である

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV-ADTVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［全チャンネルで同じ設定を使用する］にチェックします。
③ ［デフォルト］ボタンをクリックします。
④ ［はい］ボタンをクリックします。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2 本製品の設定値が異常である

【本製品の設定】(74ページ)をご覧になり、本製品の設定値を初期化してください。

仕様

型名		GV-ADTV
TVチューナー	**受信可能TV ch**	VHF ····· 1～12ch UHF ····· 13～62ch CATV ····· C13～C63ch
	TV音声	ステレオ、音声多重出力(EIAJ方式)
	TV-RF入力	F型コネクタ×１　75Ω
ビデオ	**NTSC入力**	NTSC
	映像調整	明るさ、コントラスト、色合い、鮮やかさの調整が可能。 チャンネル周波数の微調整が可能。
	ビデオ入力	Y/Cコネクタ×１
オーディオ	**外部ライン入力**	RCAピン(L/R)×１
IEEE 1394		4ピン×１　6ピン×１
ビデオフォーマット		DV形式
オーディオサンプリング周波数		48kHz　16bit 32kHz　12bit
接続バス		PCI Rev.2.2以降のPCIバススロットが１つ必要
割り込み(IRQ)		Plug&Playによる自動設定（１つ使用）
メモリマッピング		Plug&Playによる自動設定
電源		+5V ±5%, +12V ±5%
消費電流(Max)		DC +5V:1.1A, DC +12V:330mA
使用温度範囲		+5～+35℃
使用湿度範囲		20～80%（結露なきこと）
サイズ		約175mm(W)×約107mm(D)×約18mm(H) （スロットカバーおよび突起部含まず）
質量		約195g

お問い合わせ

本製品について

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書の【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/　製品Q&A, Newsなど

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/　弊社サポートライブラリ

2 それでも解決できない場合は･･･

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3646**　東京…**03-3254-1036**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

Ulead のソフトウェアについて

添付の「Ulead VideoStudio 7 SE」「Ulead DVD MovieWriter 2 SE(Dolby Digital 対応版)」「Ulead PhotoImpact 8 SE」「Ulead Cool 3D 3 SE」に関する
お問い合わせは、ユーリードシステムズ株式会社で受け付けています。

ユーリードシステムズ株式会社　ユーザーサポート係

住所：　〒158-0097　東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル
電話：　東京…03-5491-5662
※受付時間　10:00～12:00 13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）
インターネット：　http://www.ulead.co.jp/
E-Mail：　上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

reserMail について

添付の「reserMail」に関するお問い合わせは、ADCテクノロジー株式会社で受け付けています。

ADCテクノロジー株式会社　ユーザーサポート係

E-Mail：　support@epoint.co.jp
※ お問い合わせの際は、本製品名もお知らせください。
※ お問い合わせは、E-Mailでのみ受け付けております。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, MS, MS-DOS, Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。
- Ulead Systems, Ulead Media Studio, PhotoImpactは、Ulead Systems社の商標です。
- "iEPG"および"iEPG"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

GV-ADTV 取扱説明書

2003.07.28 135284-01

発 行　株式会社アイ･オー･データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.